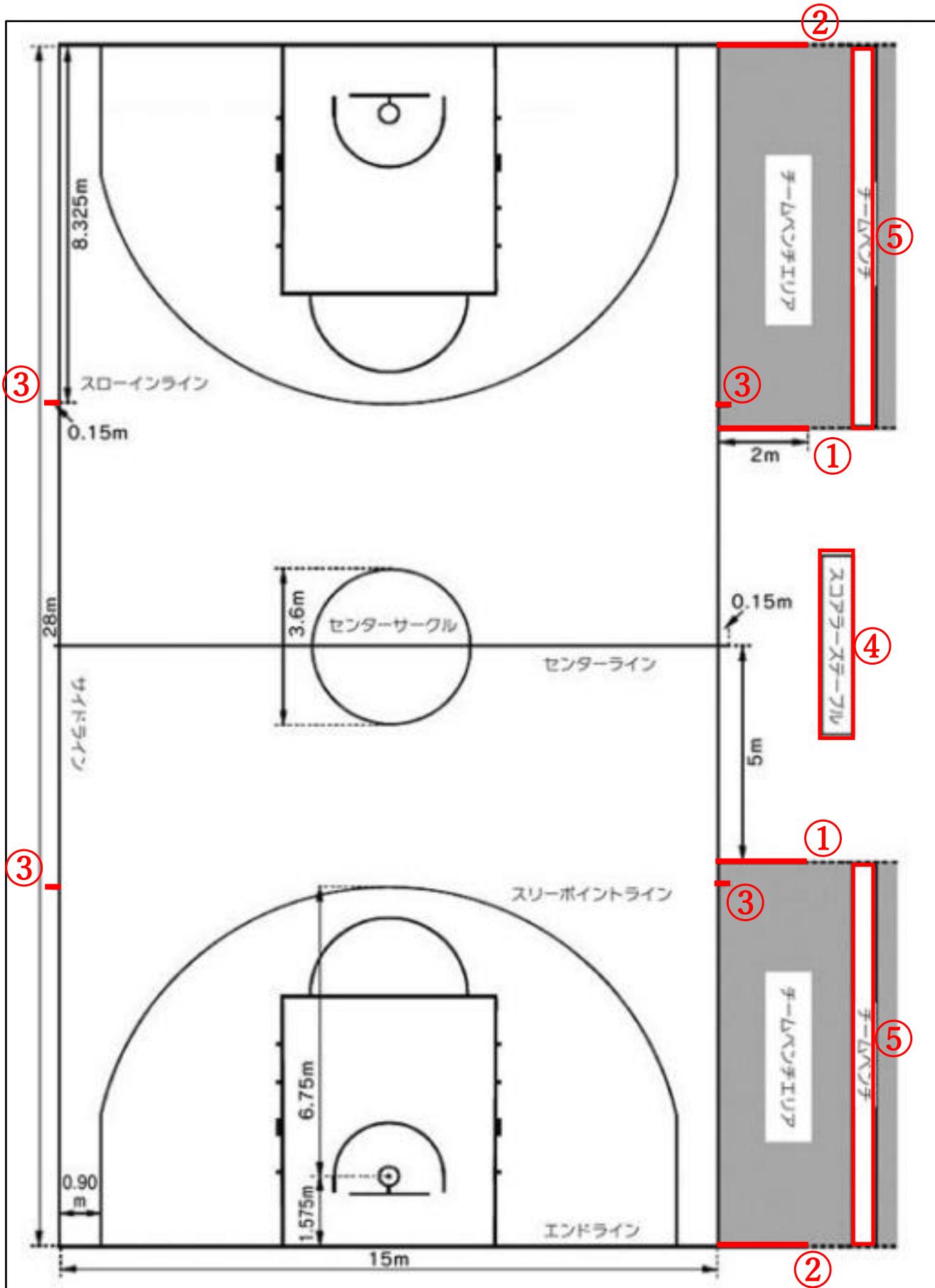


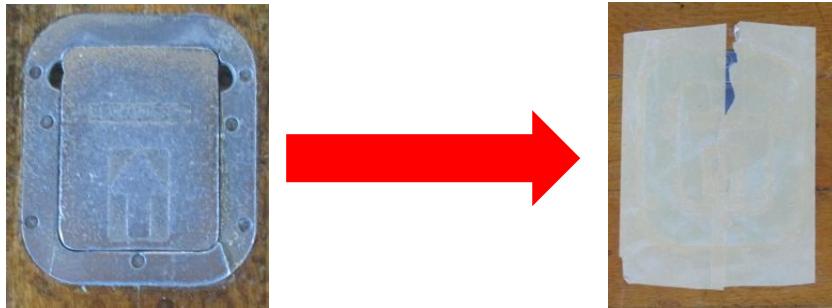
体育館コート設営について



チェックリスト

【ラインテープ関係】

- コート内にある支柱穴をマスキングテープで隠す。

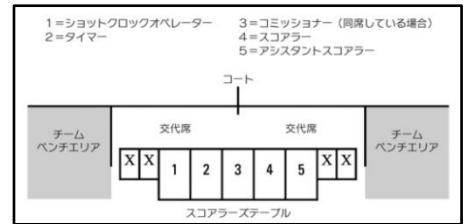


- ライン上にある支柱穴は、マスキングテープを貼り、その上からラインテープを貼る。
- バスケットのコートを横切ったり、重なったりしている別な色のラインについても、マスキングテープを貼った上で白のラインテープを貼る。(その周辺だけでOK)
- コートのラインの近くにある勘違いしそうなラインについても、会場校の判断でマスキングテープを貼る。
- ベンチエリアを用意せねばなりません。センターラインから 5m のところに 2m (程度) の長さで白のラインテープを貼る。(①)
- ベンチエリアのもう一方の端を準備する。エンドラインを 2m(程度)延長させるイメージで白いラインテープを貼る。(②)
- スローインラインを準備する。3P ラインの先端からサイドラインに向かってまっすぐ進んだところにスローインラインがある(エンドラインから 6.75m)。もともとかれているものはそのまま生かし、かかれていな方は 15cm 白いラインテープを貼る。

※会場によっては、横方向のバスケットコートのペイントエリアと重なっているところもあると思います。その際は、とても面倒ですが、マスキングテープを貼ってからスローインラインの白いラインテープを貼ってください。

【T.O 席 (④)】

- サイドラインから 2m 以上離して、テーブルを設置する。



- マニュアルに準じて、機器や用具を設置する。そして椅子を人数分設置する。

※通常市内大会ではコミッショナーの席を「3」の位置に用意していないので、

「1」 ⇒ ショットクロックオペレーター

「2」 ⇒ ダイマー

「3」 ⇒ 補助員(得点やポゼッション)

「4」 ⇒ スコアラー

「5」 ⇒ アシスタントスコアラー



で統一しましょう。

- 交代席を、T.O 席にくっつける形で 2 席ずつ用意する。

【チームベンチ (⑤)】

- サイドラインから椅子の前脚が 2m 以上離れるように設置する。

※無理な場合は、壁にくっつける。

- 19 席すき間なく並べる。

※コートの長さが既定の長さに満たない場合、チームベンチエリアに 19 席置けない場合があります。その場合は、無理に 19 席置かなくて構いません。(国際ルールでは 16 席)

【応援席側】

- 対面のタイマーや得点版、応援席を設置する場合は、サイドラインから 2m 以上離す。

※ルールに特に規定がないので、応援席の数や配置の仕方は会場校にお任せします。

【ショットクロック】

- エンドラインから 2m 後方、サイドラインから 2m 内側に設置。